

# 部品技術情報流通(R&R: Registry and Repository)構想

## 部品技術情報流通における企業の課題

### ■ サプライヤ企業の課題

- 技術情報Data Base(DB)を持っている会社が少ない。
- バイヤの要求に対応して、個別のフォーマットに対応したデータを提供する必要があります。
- データの再利用が出来ず、再作成する場合がある。
- 人間系の対応のためモレヌケが多い。

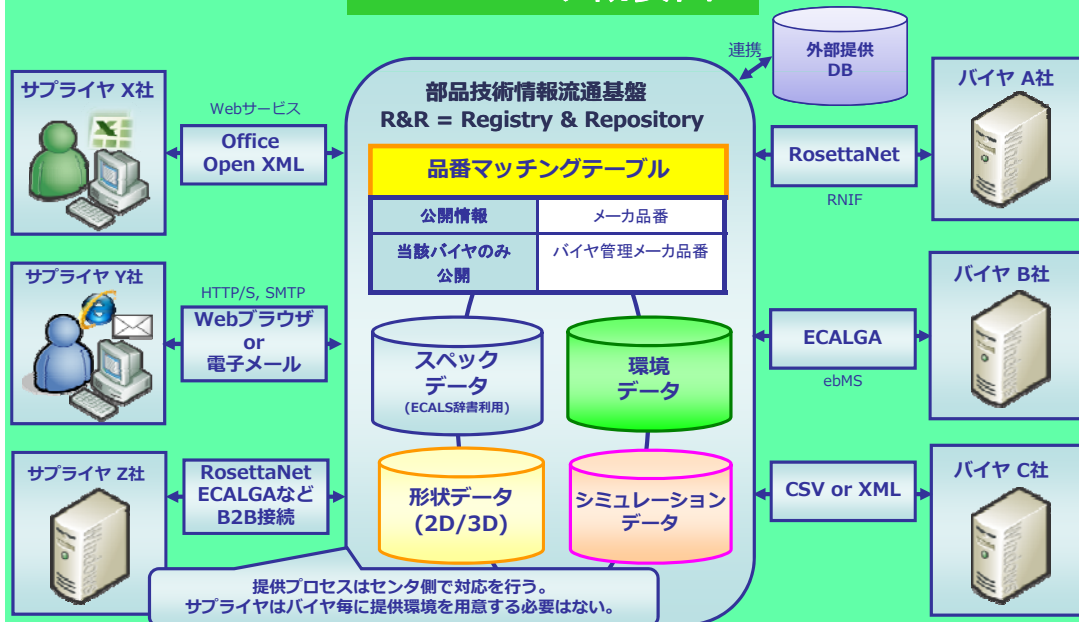
### ■ バイヤ企業(セットメーカ)の課題

- 部品技術情報取得に、時間が掛かる。
- 取得した部品技術情報の品質・精度が悪い。
- 外資系サプライヤ・商社から技術情報取得困難。
- スペック情報はできて当たり前、今後は環境情報・形状データの交換を実施してゆかなければならない。

## 解決策

- 技術情報交換インフラを活用することでものづくりに関わるコスト削減(目標30%!)
- 新しい部品技術情報流通モデルの提案
  - ASPサービス(全部品技術情報をASP経由入手)
    - サプライヤ、バイヤともにフォーマットを選択可能。
  - コンテンツサービス(汎用部品技術情報をECALSに統一しR&Rにストックし、バイヤ間で使い回す。)
    - データ取得時間短縮。
  - DBアウトソーシングサービス(新部品情報(スペック・形状・シミュレーション・環境)をサプライヤ部品番号でストックし、バイヤ間で使い回す。)
    - データ取得時間短縮。
  - サプライヤ売り込みサービス(サプライヤDB)(売り込みたい部品属性を登録。)
    - サプライヤ売り込み効率アップ
    - バイヤ新部品技術情報取得時間短縮。

## R&Rセンタ概要図



## R&Rのビジョン

